

2016年3月期 決算説明資料



株式会社 ヴィンクス

2016年5月26日

JASDAQ

証券コード:3784

1. 2016年3月期 決算概要

- 決算ハイライト … P 4
- 2015年度の主なトピックス … P 5
- 分野別状況 … P 9
- 財務状況 … P 14

2. 中期経営計画（2016年度 – 2018年度）および次年度計画

- 中期経営計画 … P 17
- 新たな数値フレーム … P 18
- 主な戦略 … P 21
- 2016年3月期 数値計画（連結・個別） … P 24
- 当期及び次期の配当見通し … P 25

1. 2016年3月期 決算概要

売上高 および 利益

- 売上高につきましては、大手顧客については前年を上回りましたが、計画されていた大型案件の延伸、大型運用受託契約の満了等の影響により、計画および前期を下回る結果となりました。
- 利益面につきましても、上記の影響により、計画および前期を下回る結果となりました。

(連結, 金額: 百万円, 百万円未満切捨)

科目名	当期 (2016/3期)		計画対比 (2015年10月27日発表)			前年対比		
	実績値	売上比	計画値	計画比	計画差	前年値	前年比	前年差
売上高	27,094	-	28,100	96.4%	▲ 1,005	28,069	96.5%	▲ 974
営業利益	1,443	5.3%	1,580	91.4%	▲ 136	1,558	92.6%	▲ 114
経常利益	1,386	5.1%	1,515	91.5%	▲ 128	1,757	78.9%	▲ 370
親会社株主に 帰属する 当期純利益	805	3.0%	945	85.2%	▲ 139	981	82.0%	▲ 176

2015年度の主なトピックス



新規顧客、既存顧客の 新規分野の獲得	スーパー	● ギフト承りシステム 静岡県の中堅スーパーより、ギフト承りシステム「Smart-Gift®」の受注を獲得致しました。
	スーパー	● 商品管理基幹システム 福井県の中堅スーパーより、商品管理基幹システム「MDware®」の受注を獲得致しました。
	専門店	● 次世代POSソリューション 北海道を中心に全国展開する大手家具メーカーより、「ANY-CUBE® Neo」の受注を獲得致しました。
	専門店	● 顧客情報統合管理システム 兵庫県を中心に全国展開する大手靴メーカーより、顧客情報統合管理システムの導入にヴィンクスをご採用頂きました。
サービスビジネス の拡大	スーパー	● 顧客情報システム 関東地方を中心に展開する大手スーパーや、東北地方を中心として展開する中堅ドラッグストアより、顧客情報システム「Hybrid Satisfy®」の受注を獲得致しました。
	飲食	● クラウド型タブレットPOSパッケージ 「ANY-CUBE® +1」が、関東地方を中心として展開する飲食業にて本番稼動すると共に、その他多くのお客様より引き合いを頂いております。
グローバル ビジネス の拡大	スーパー (海外)	● 商品管理基幹システム ベトナム現地スーパー向けの、商品管理基幹システム「MDware®」の開発を進めております。

新商品のリリース

● 2015年11月16日：Hybrid Satisfa をリリース

顧客情報システム



顧客情報システム「Satisfa」に、ECサイトやモバイルアプリ等のオンライン向け連携機能を追加。

製品
概要

顧客管理・ポイント管理・情報分析の3モジュールから構成されるCRMシステムです。
POSシステムやECサイト等との間で、顧客情報や購買情報を連動し、顧客と購買を一元管理します。

● 2015年11月25日：MDware自動発注クラウド をリリース

商品管理基幹システム



商品管理基幹システム「MDware 自動発注」を、Microsoft Azure 環境でサービス提供。

製品
概要

店舗で取り扱いの多いグロサリー（一般食品）や日用雑貨等の「店舗で一定在庫が必要な商品」を対象とし、セルワンバイワン方式で自動発注を行う仕組みです。

● 2015年11月27日：SoftWareCAT をリリース

マルチ決済システム



各種決済サービスとして、クレジットカード（VISA、JCB 等）、電子マネー（WAON 等）に対応。銀聯、Alipay へも対応予定。

製品
概要

各種決済サービスとPOSシステムとをつなぐソフトウェア製品です。
最小限のカードリーダーや非接触ICリーダー・ライターを接続するだけで決済手段を提供します。

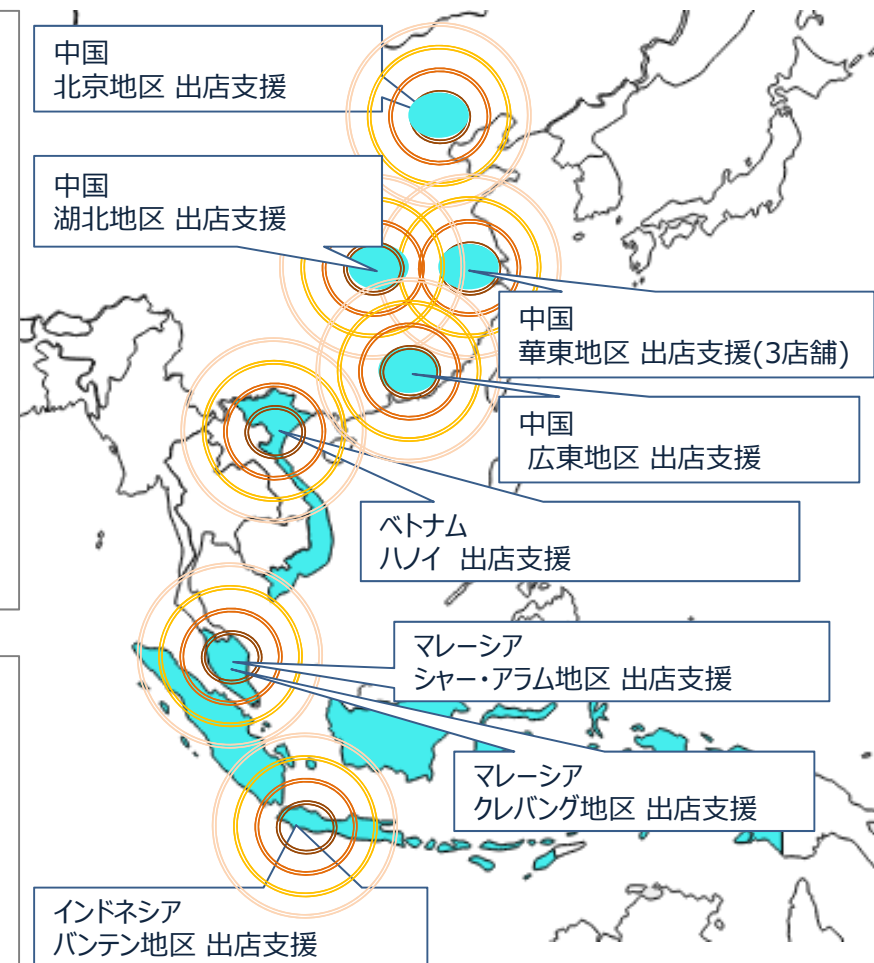
日系企業向けITサービスの拡大

- 昨年度に引き続き本年度も大手日系流通小売業様の出店支援を実施いたしました。

< 2015年度実績 >

・ 中国	6店舗
・ マレーシア	2店舗
・ ベトナム	1店舗
・ インドネシア	1店舗
計 :	10店舗

- 中国の大手日系流通小売業様 7 社へ、商品管理基幹システム「MDware®商品情報分析」を導入致しました。



業務提携について

- 日本マイクロソフトとの協業により Microsoft Azure環境下で、
 - ・POSシステム
 - ・MDシステム

など、付加価値のあるクラウドサービスを提供致しました。

2016年1月7日 発表

クラウド対応型POSサービス



POS・マルチ決済ソフト



顧客ポイント統合ソリューション



人時生産性向上の特効薬



- Vistaエンターテインメントソリューションズ(VES)の国内代理店第一号として販売代理店契約を調印。

約40%の世界シェアを誇るシネマ管理ソフトウェアを提供するVESとの提携により、新たにシネマ市場へ参入し、更なる事業規模の拡大及び企業価値の向上に努めてまいります。

2015年8月26日 発表

- デジミホと販売代理店契約を締結し、流通・サービス業のお客様へ高品質で付加価値のあるITサービスの提供を開始。

小売業界のデータを使った One To One マーケティングのコンサルティングにおいて多くの実績を持つデジミホと、ヴィンクスが保有するITサービスを融合させた、より高度なITサービスの提供が可能となります。

2015年11月25日 発表

アウトソーシング分野

(システム運用・管理サービス、保守、ヘルプデスクサービス、ASPサービス等)

- ・売上高については計画されていた大型運用受託契約の満了等の影響により、前年値を下回りましたが、計画通りの実績となりました。
- ・運用監視業務でのオフショア活用により、売上総利益は計画値および前年値を上回りましたが、クラウド運用サービス等の新規事業へ注力した結果、営業利益は計画値および前年値を下回りました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

科目名	当期 (2016/3期)		計画対比 (2015年10月27日発表)			前年対比		
	実績値	比率 ※	計画値	計画比	計画差	前年値	前年比	前年差
売上高	13,174	48.6%	13,177	100.0%	▲ 2	14,486	90.9%	▲ 1,312
売上総利益	2,620	19.9%	2,434	107.7%	186	2,607	100.5%	13
営業利益	691	5.3%	712	97.1%	▲ 20	764	90.5%	▲ 72

※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

ソリューション分野

(流通サービス業基幹システム、クレジットカードシステム、Webシステムの開発)

- ・計画されていた大型案件の延伸により、計画値および前年値を下回りました。
- ・システム開発のプロジェクトマネジメント管理を強化した事により、利益率は向上しました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

科目名	当期 (2016/3期)		計画対比 (2015年10月27日発表)			前年対比		
	実績値	比率 ※	計画値	計画比	計画差	前年値	前年比	前年差
売上高	7,967	29.4%	9,415	84.6%	▲ 1,447	8,713	91.4%	▲ 746
売上総利益	1,902	23.9%	2,219	85.7%	▲ 316	1,923	98.9%	▲ 20
営業利益	551	6.9%	649	84.9%	▲ 98	576	95.7%	▲ 24

※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

プロダクト分野

(流通サービス業向けパッケージ開発、販売)

- ・プロダクトの拡販が進み、売上高は計画値および前年値を上回りました。
一方、次年度に向けた新商品の研究開発投資の影響で営業利益は計画値を下回りました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

科目名	当期 (2016/3期)		計画対比 (2015年10月27日発表)			前年対比		
	実績値	比率 ※	計画値	計画比	計画差	前年値	前年比	前年差
売上高	1,627	6.0%	1,244	130.8%	383	1,196	136.0%	430
売上総利益	490	30.1%	479	102.3%	10	388	126.3%	102
営業利益	124	7.7%	140	88.8%	▲ 15	115	108.1%	9

※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

その他IT関連分野

(ハードウェア販売、ハードウェア及びミドルウェア保守サービス等)

- ・物販（ミドルウェアライセンス等）の増加により、売上高は計画値および前年値を上回りましたが、物販比率の増加に伴い売上総利益・営業利益は計画値および前年値を下回りました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

科目名	当期 (2016/3期)		計画対比 (2015年10月27日発表)			前年対比		
	実績値	比率 ※	計画値	計画比	計画差	前年値	前年比	前年差
売上高	4,325	16.0%	4,264	101.4%	61	3,671	117.8%	653
売上総利益	259	6.0%	262	98.6%	▲ 3	306	84.5%	▲ 47
営業利益	75	1.7%	76	97.5%	▲ 1	101	73.9%	▲ 26

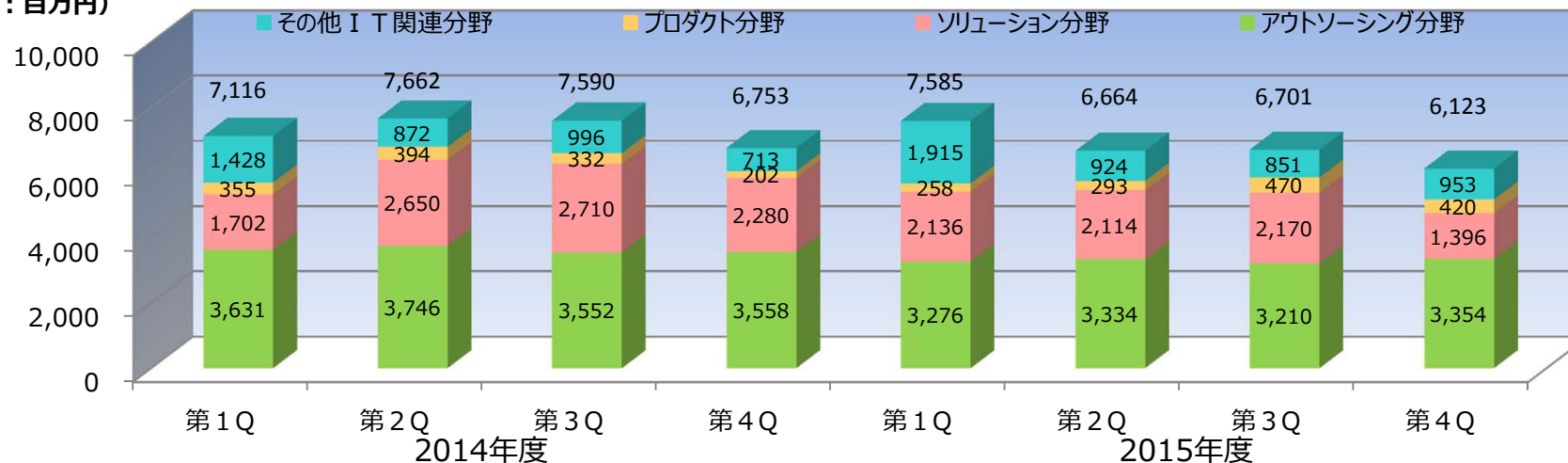
※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

分野別受注高・受注残高の推移



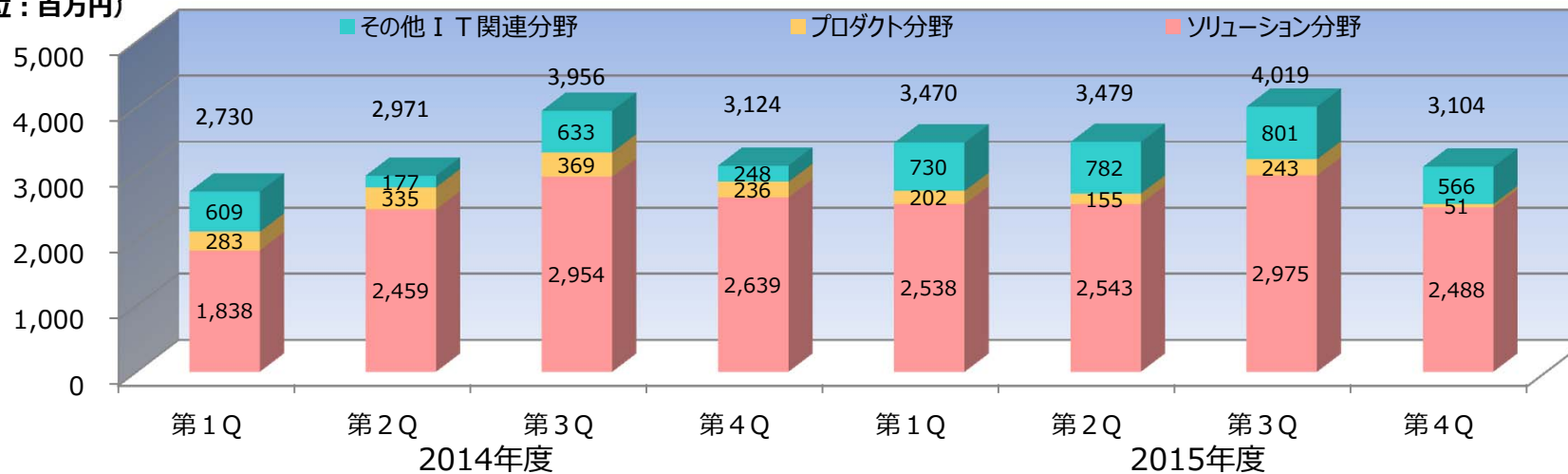
＜受注高の推移＞

(単位：百万円)



＜受注残高の推移＞

(単位：百万円)



注記：アウトソーシング分野につきましては、受注生産型の事業形態ではないため「受注残高」の記載を省略しております。

【貸借対照表】

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

区分	2016年 3月期末		2015年 3月期末	増減額
		構成比		
流動資産	12,687	79.5%	12,597	90
固定資産	3,268	20.5%	3,789	△ 520
<有形固定資産>	1,299	8.2%	1,332	△ 33
<無形固定資産>	835	5.2%	1,175	△ 339
<投資その他の資産>	1,133	7.1%	1,281	△ 148
資産合計	15,956	100.0%	16,387	△ 430
流動負債	4,877	30.6%	5,952	△ 1,075
固定負債	4,015	25.1%	3,980	34
負債合計	8,892	55.7%	9,933	△ 1,040
純資産合計	7,064	44.3%	6,454	610
負債・純資産 合計	15,956	100.0%	16,387	△ 430

【貸借対照表のポイント】

①流動資産（90百万円増加）

- ・現金及び預金（940百万円増加）
連結子会社借入による増加
- ・受取手形及び売掛金（443百万円減少）
前期末大型案件の債権回収による減少
- ・貸付金（103百万円減少）
貸付金の回収による減少

②固定資産（520百万円減少）

- ・無形固定資産（339百万円減少）
のれんやソフトウェア資産の償却による減少
- ・投資その他の資産（148百万円減少）
保有株式や関係会社株式の売却による減少

③流動負債（1,075百万円減少）

- ・買掛債務、法人税等の支払いによる減少

④純資産（610百万円増加）

- ・利益剰余金の計上（624百万円増加）

財務状況



【キャッシュ・フローの状況】

単位：百万円、百万円未満切り捨て

税金等調整前当期純利益	1,282
減価償却費	1,030
売上債権の増減額（△は増加）	371
仕入債務の増減額（△は減少）	△ 312
その他（上記以外）	△ 260
小計	2,111
法人税等の支払額等	△ 779
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,331
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 892
貸付による支出	△ 821
貸付金の回収による収入	925
その他（上記以外）	117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 671
長期借入金等の返済による支出	△ 740
長期借入れによる収入	1,148
配当金の支払額	△ 176
その他（上記以外）	108
財務活動によるキャッシュ・フロー	339
現金及び現金同等物に係る換算差額	3
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,002
現金及び現金同等物の期首残高	3,909
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 61
現金及び現金同等物の当期末残高	4,850

【キャッシュ・フローのポイント】

①営業キャッシュ・フロー（1,331百万円の増加）

- ・税金等調整前当期純利益の計上（1,282百万円）

②投資活動によるキャッシュ・フロー（671百万円の減少）

- ・有形・無形固定資産の取得による支出（892百万円）

有形固定資産

海外向け運用サービスの環境構築 等

無形固定資産

自社プロダクト開発（ソフトウェア資産） 等

③財務活動によるキャッシュ・フロー（339百万円の増加）

- ・長期借入金等の返済による支出（△740百万円）

当社長期借入金の返済

- ・長期借入による収入（1,148百万円）

連結子会社による設備投資資金の借入による収入

2. 中期経営計画（2016年度 - 2018年度） および次年度計画

「アジアにおける流通 I T のリーディングカンパニーを目指す」

を経営ビジョンとして、更なる事業成長と安定的な収益基盤の確立の両立を図ってまいります。

当社グループは、中期経営計画に基づいて、国内事業の拡大とグローバル展開を加速し、事業の継続的な成長に努めてまいります。

事業成長と安定的な収益基盤確立の両立



戦略1 商品・サービスの差別化戦略

- 大手顧客への導入・拡大
- 事業分野の拡大
- クラウド化によるラインナップの拡大
- グローバル商材の充実

戦略2 グローバル戦略

- 日系進出企業の獲得
- 現地小売業の案件獲得
- グローバル営業体制の強化
- 海外拠点の拡大

戦略3 特定顧客化戦略

- ITフルアウトソーシングを目指した大手小売業の獲得
- プロダクトを起点とした顧客の獲得と新たな特定顧客化

戦略4 経営基盤の強化

- 業務プロセス等の見直しによる業務の効率化推進
- プロジェクトおよび品質管理の強化
- 継続的な事業成長を実現するための事業基盤強化

新たな数値フレーム



単位：百万円、%、百万円未満切捨て

連 結	売上高		営業利益			経常利益			親会社株主に帰属する 当期純利益		
		前年比		前年比	利益率		前年比	利益率		前年比	利益率
2013年度 (実績)	27,271	—	1,522	—	5.6%	1,509	—	5.5%	824	—	3.0%
2014年度 (実績)	28,069	102.9%	1,558	102.3%	5.6%	1,757	116.4%	6.3%	981	119.1%	3.5%
2015年度 (実績)	27,094	96.5%	1,443	92.6%	5.3%	1,386	78.9%	5.1%	805	82.0%	3.0%
2016年度 (計画)	28,000	103.3%	1,300	90.1%	4.6%	1,210	87.3%	4.3%	796	98.9%	2.8%
2017年度 (計画)	29,100	103.9%	1,640	126.2%	5.6%	1,582	130.7%	5.4%	998	125.4%	3.4%
2018年度 (計画)	31,700	108.9%	1,800	109.8%	5.7%	1,742	110.1%	5.5%	1,099	110.1%	3.5%

単位：百万円、%、百万円未満切捨て

個 別	売上高		営業利益			経常利益			当期純利益		
		前年比		前年比	利益率		前年比	利益率		前年比	利益率
2013年度 (実績)	24,879	—	1,666	—	6.7%	1,643	—	6.6%	933	—	3.8%
2014年度 (実績)	25,467	102.4%	1,563	93.8%	6.1%	1,732	105.4%	6.8%	937	100.5%	3.7%
2015年度 (実績)	24,975	98.1%	1,366	87.4%	5.5%	1,376	79.5%	5.5%	938	100.1%	3.8%
2016年度 (計画)	25,650	102.7%	1,120	81.9%	4.4%	1,096	79.6%	4.3%	700	74.6%	2.7%
2017年度 (計画)	26,600	103.7%	1,440	128.6%	5.4%	1,428	130.3%	5.4%	901	128.7%	3.4%
2018年度 (計画)	29,000	109.0%	1,624	112.8%	5.6%	1,612	112.9%	5.6%	1,017	112.9%	3.5%

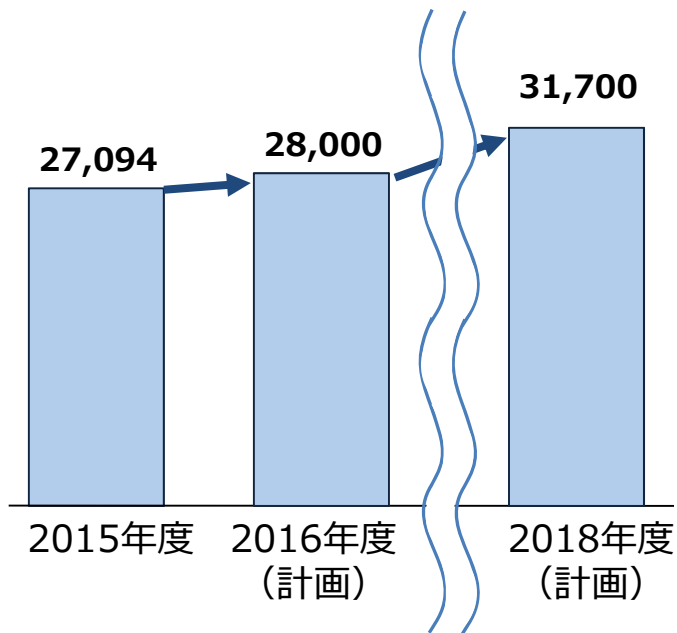
事業拡大に向けた研究開発の強化



2016年度は、事業成長のための新商品・新サービス向け研究開発を強化します。

<中期 売上高拡大計画>

(単位：百万円)



重点拡大分野

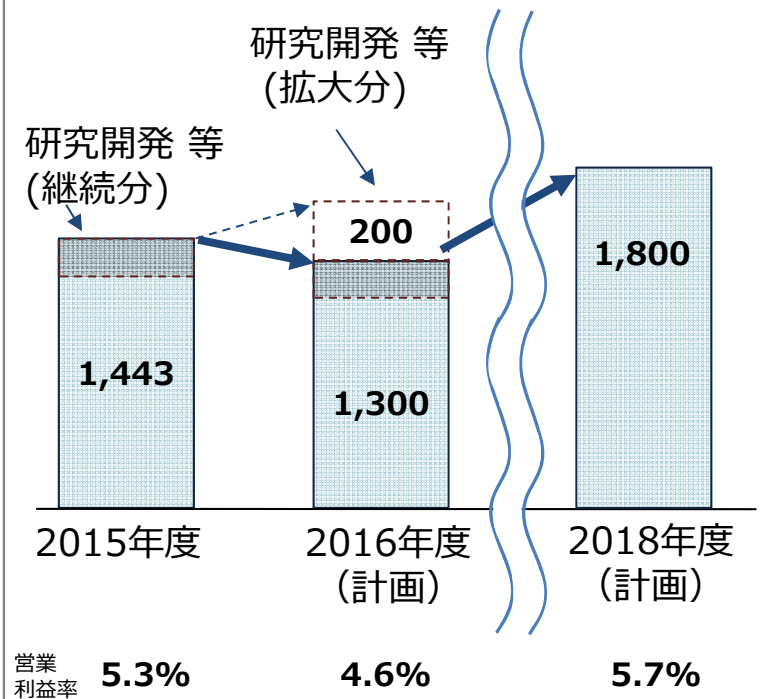
中国・アパ向けビジネスでの更なる事業拡大を目指す

既存大手顧客に加え、新たな事業の柱となる新規大手顧客を獲得し、特定顧客事業分野で成長を目指す

ソリューション・プロダクト外分野で新商品・サービスを拡大すると共に、新たな市場領域を開拓し、成長を目指す

<営業利益計画>

(単位：百万円)



重点項目

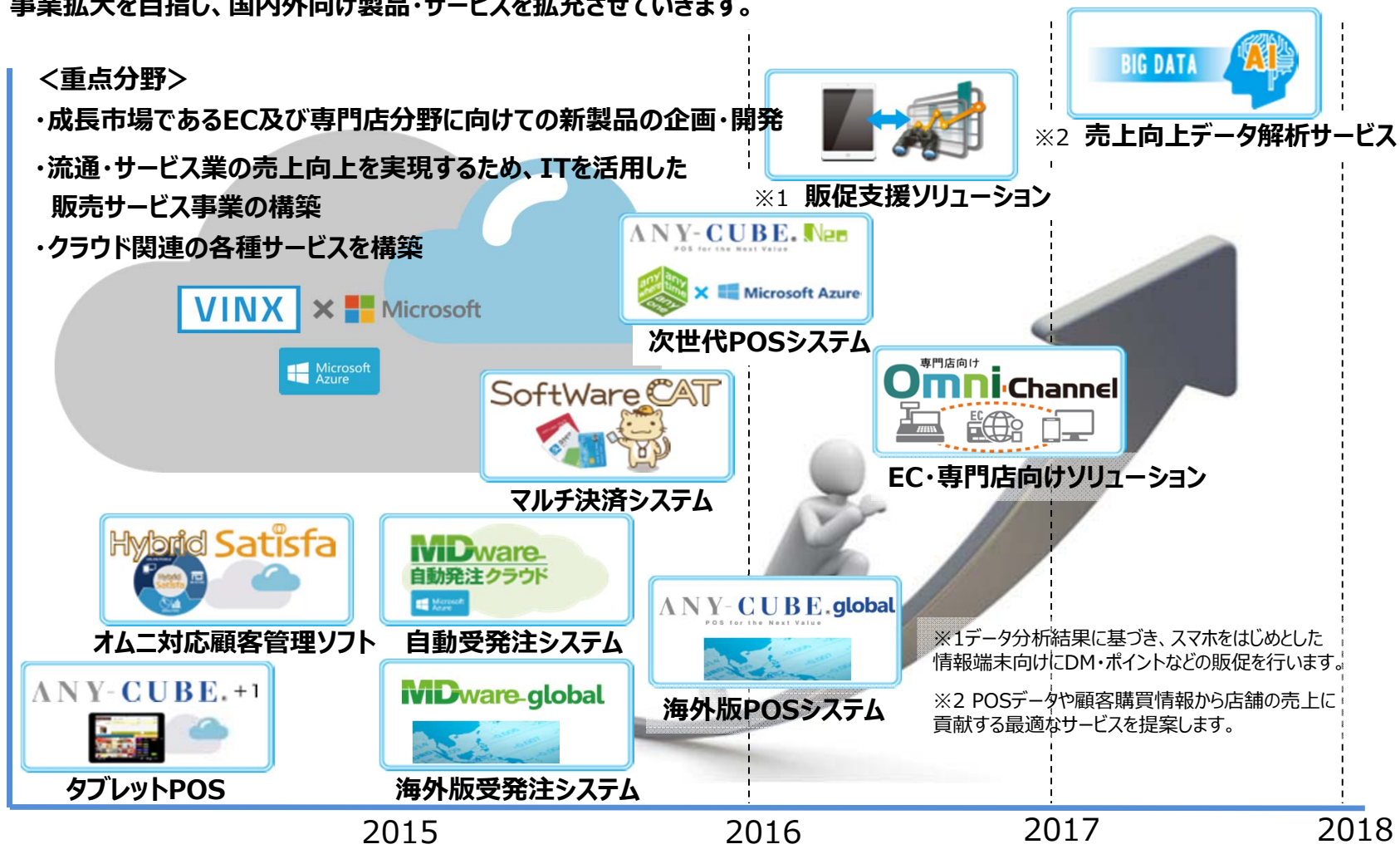
- 2016年度上期：5月発売の ANY-CUBE Neo の更なる機能追加**
次世代POSソリューション
ANY-CUBE Neo
5月発売予定のPOSプロダクト『ANY-CUBE Neo』に対し、セミセルフレジ対応等の更なる機能追加を実施。
- 2016年度上期：アセアン各国向け MDware の商品開発**
商品管理基幹システム
MDware-global
流通小売業向け基幹システムであるMDwareをアセアン地域で販売拡大するため、現在、グローバル版を開発中。
- 2016年度：MDware のバージョンアップ**
商品管理基幹システム
MDware
需要予測機能の強化をはじめとした各種バージョンアップを計画。
- 2016年度：専門店向けプロダクトに関する研究開発**
Coming Soon
専門店分野の顧客向けプロダクトに関する研究開発を実施予定。
- 2016年度：売上向上ソリューションに関する研究開発**
Coming Soon
顧客の売上向上に繋がるソリューションに関する研究開発を実施予定。
- 2016年度：クラウド運用ソリューションに関する研究開発**
Coming Soon
マルチクラウド環境の運用ソリューションに関する研究開発を実施予定。

商品・サービスの差別化戦略

事業拡大を目指し、国内外向け製品・サービスを拡充させていきます。

<重点分野>

- ・成長市場であるEC及び専門店分野に向けての新製品の企画・開発
- ・流通・サービス業の売上向上を実現するため、ITを活用した販売サービス事業の構築
- ・クラウド関連の各種サービスを構築



※1データ分析結果に基づき、スマホをはじめとした情報端末向けにDM・ポイントなどの販促を行います。

※2 POSデータや顧客購買情報から店舗の売上に貢献する最適なサービスを提案します。

グローバル戦略

- I Tサービスを展開中
中国、マレーシア、ベトナム、
カンボジア、インドネシア
- 今後 I Tサービスを展開予定
フィリピン、タイ、ミャンマー 他



経営基盤の強化

- 国内外の事業拡大基盤の強化
国内外事業の継続的な成長を支える経営管理体制及びプロジェクト管理体制を推進し、事業基盤を強化する。
- 品質とプロジェクト管理の強化
国内外の各プロジェクトにおける運用・品質管理を強化するためのPMOに加え、品質を保持しながら計画的且つ効率的にプロジェクトを遂行することにより、赤字プロジェクトやトラブルを撲滅し収益力の向上を図る。
- 人材マネジメントの強化
 - ・中長期的な成長・拡大を支える人材に対する教育を重点的に行う。
 - ・技術者資格の取得を推進し、早期の技術者育成を行う。
- 国際分業化の推進
アセアン地域におけるS E拠点であるベトナム連結子会社を活用したソフトウェア開発の国際分業化を推進し、システム開発における生産性向上に努める。

2016年度数值計画（連結・個別）



単位：百万円、%、百万円未満切捨て

連結	通期			上期			下期		
	計画値	売上比	前年比	計画値	売上比	前年比	計画値	売上比	前年比
売上高	28,000	-	103.3%	13,664	-	98.3%	14,336	-	108.6%
売上総利益	5,435	19.4%	103.1%	2,621	19.2%	96.4%	2,814	19.6%	110.2%
販売管理費	4,135	14.8%	108.0%	2,038	14.9%	106.5%	2,097	14.6%	109.4%
営業利益	1,300	4.6%	90.1%	583	4.3%	72.3%	717	5.0%	112.5%
経常利益	1,210	4.3%	87.3%	547	4.0%	72.7%	663	4.6%	104.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	796	2.8%	98.9%	357	2.6%	73.4%	439	3.1%	137.7%

個別	通期			上期			下期		
	計画値	売上比	前年比	計画値	売上比	前年比	計画値	売上比	前年比
売上高	25,650	-	102.7%	12,560	-	97.4%	13,090	-	108.3%
売上総利益	4,789	18.7%	101.5%	2,310	18.4%	94.3%	2,479	18.9%	109.3%
販売管理費	3,669	14.3%	109.5%	1,811	14.4%	109.2%	1,858	14.2%	109.8%
営業利益	1,120	4.4%	81.9%	499	4.0%	63.0%	621	4.7%	108.1%
経常利益	1,096	4.3%	79.6%	487	3.9%	61.3%	609	4.7%	104.7%
当期純利益	700	2.7%	74.6%	307	2.4%	56.4%	393	3.0%	99.7%

配当方針

当社は、株主様への利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しており、配当金につきましては、企業価値の向上とその水準の維持を可能とする範囲において、事業拡大のための内部留保を勘案しながら決定することを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後予想される事業規模拡大のため新規事業及び新製品の開発に対し有効に投資して参ります。

配当見通し

(単位：円，1株あたり)

	中間配当金	期末配当金	年間配当金合計	配当性向 (連結)
2015/3期 (実績)	10	10	20	17.8 %
2016/3期 (実績)	10	(※1) 10	20	22.0 %
2017/3期 (予想)	10	10	20	22.3 %

※1：2016年5月10日開催の取締役会において決定の内容を表示しております。

東京証券取引所市場第二部への市場変更承認

当社は株式会社東京証券取引所の承認を受け、平成28年5月27日をもちまして、東京証券取引所 J A S D A Q（スタンダード）から同取引所市場第二部へ市場変更する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

これもひとえに、株主の皆様をはじめ、お客様、お取引先様など、多くの関係者の皆様の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

今後も皆様のご期待にお応えできますよう、更なる業容の拡大と企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

正確性を期すために慎重に行っておりますが、正確性・完全性を保証するものではありません。

また、本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は当社の公表している将来見通しとは大きく異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社ヴィンクス
企画本部 経営企画部
e-mail : ir@vinx.co.jp